

発行日：平成10年12月16日
発行者：医学部広報委員会
印刷：やまと印刷株式会社

医学部ウォーカー

- 1面：医学部教員任期制公開討論会行われる
2面：新「解剖体慰靈祭」
3面：倫理委員会98
4面：ジャマイカ見聞記
5面：Dr.Coombs 来弘
6面：研究室紹介 第二生理学教室
7面：座談会 SGTを終了して
8面：21世紀構想検討委員会中間報告
題字 医学部長 遠藤正彦氏筆

医学部長寄稿

大学審議会答申の「競争的環境」に打ち勝つために

医学部長 遠藤 正彦

大学審議会は、二十一世紀の大学像と改革策についての答申を文部大臣に提出し、それが公表された（平成十年十月二十六日）。この答申の副題として、「競争的環境における輝ける大學を」を掲げている。その冒頭で、現在様々な形での大学改革が進んでいるが、未だ多くの改善すべき点が見られる。とし、また、本文中で社会の期待に適切に応えられない大学等においては、その存立基盤自体が危

機的な状況に陥ることも予想されるとしている。大学審議会の答申には、現在の大学改革が遅々として進まないという焦燥感と、このままでは国際競争に立ち遅れるとの危機感が窺われる。

答申の柱は、大学の具体的な改革は、各大学の主体性と自主性に委ねるとしつつ、逆に近隣大学院の大幅な入学定員割れを増大させた。文部省校費配分の頭打ちと逆に文部省科学研修費の激増は、大学間の研究費総額に極端な格差をもたらした。

この格差は、約二十年前に文部省が設置され、各國立大学（医科大学）において大きな手を貸してきた。県民挙げての設置後地域の産業等と深い関わりを維持した大学、あふれる情報を先取りし特許等を手段として企業や文部省以外の省庁との結びつきを強化していく。

少子化による大学入学者減と医師過剰は、余剰の医学部の統廃合をつきつけてくるとすらさやかれていく。医師不足の地域にひたする。国立大学医学部のメドウラ医師を供給することを使命とした大学等々。そしてこの二十年の間に、マラソンの如くトップとラストのランナーの戦列は長く長く延びきつてしまつた。

弘前大学医学部は、英文学部は改めて生き残りをかなえた戦略を全構成員の意識について適用する。

第十 実施日 平成□□年□月□日とし、同日以降に任用される者に

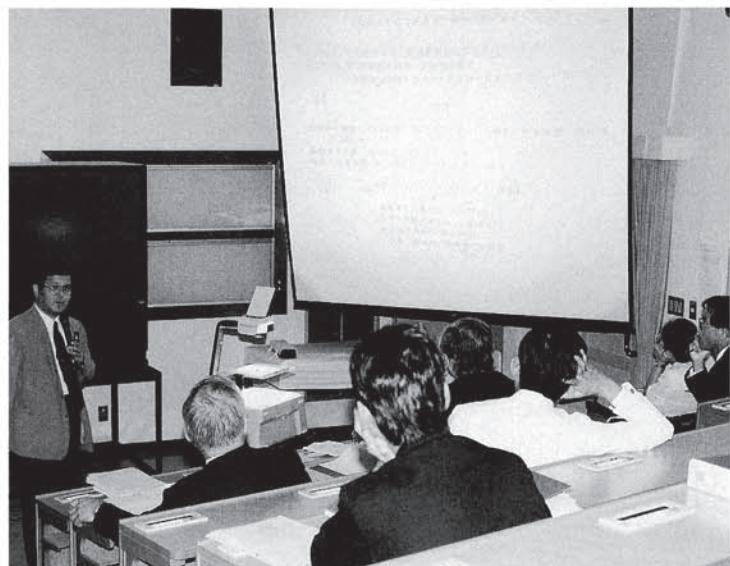
医学部教員任期制

医学部教員任期制

公開討論会行われる

佐藤 敬教授（医学部教員任期制委員会委員）と奥村 謙教授（同委員）の司会で委員会側より以下について説明が行われた。
一、我が国における教員任期制度が提起されるに至った経緯と全国の動向
菅原和夫教授（弘前大学将来計画委員会、大学教員の任期制度検討専門委員会委員）
二、弘前大学における教員任期制度の検討経過
新川秀一教授（弘前大学遠藤正彦教授（医学部教員任期制度委員会委員）
三、弘前大学医学部における教員任期制度の検討結果から、メリット・デメリットについて
中路重之講師（医学部教員任期制度委員会委員）
四、弘前大学医学部における教員任期制度案について
遠藤正彦教授（医学部教員任期制度委員会委員長）

この説明に引き続き、活発な質疑応答が行われた。その主な意見は以下の通りである。本制度の導入によつて果たして当医学部が活



任期制についての公開討論会
左端は中路重之講師（教員任期制委員会委員）

- 第一 趣旨**
大学の教員等の任期に関する法律（以下「法」という。）第三条第一項の規定に基づき、弘前大学が定める教員の任期に関する規則（仮称）において、医学部附属の研究施設等及び附属病院の全てを含む。以下「医学部」という。以下同じ）が導入する教員の任期
- 第二 対象職種**
医学部における全教員を対象とする。
- 第三 対象教育研究組織**
医学部医学科の全講座及び附属の研究施設等並びに附属病院の全診療科、全中央診療施設等及び薬剤部と

- 任期の根拠は何か。任期が終わり再任されなかつた場合どうしたらよいか。再合の際に行われる業績評価はどのように行われ、また、その公平性は保たれるのか。任期付きのポストへ移る教員と任期なしに現職にとどまる教員と差別されることはないのか。委員会としては現在、これらの意見を踏まえて、この案について細部に亘つて再検討している。
- 任期制は、法第四条第一項第一号を根拠とする。
- 第四 対象職種**
医学部における全教員を対象とする。
- 第五 任期**
教授十年、助教授・講師七年及び助手五年とする。
- 第六 再任等**
再任は、一回限りとする。ただし、特別の事情のある場合は、再々任を認める場合がある。
- 第七 同意**
任期付きポストへの任命（第六の再任等の場合を含む。）に際しては文書により、任用される者の同意を得なければならない。
- 第八 医学部在職者への適用**
現在就いているポスト（任期なしポスト）から任期付きポストに任用換（配置換）することについて、第七の同意を得た者について行う。
- 第九 業績評価**
再任及び再々任に際しては、当該人の業績評価を行う。その方法等の詳細は別に定める。

倫理委員会 98

倫理委員会委員長 工藤

一

第一回臓器移植班会議 一一十八題の発表・ 長時間の討議

臨床教授・助教授 本年度2回目の発令



臨床教授・助教授称号付与伝達式、
右は安保亘先生、左は遠藤正彦医学部長、
場所：医学部長室（平成10年10月12日）

今秋新たに七名の臨床教授・助教授が誕生した。九月十六日開催の人事等教授会において、青森県立中央病院と国立弘前病院の中から推薦された医師を対象として選考を行った。今回の発令は十月一日で、翌日、医学部長室において伝達式が行われた。

今回臨床教授及び臨床助教授もチユートリアル教育にして臨床クラークシップにしており、一部では臨床クラークシップや医学教育は今までに変革される。多くの医学部の時期を迎えている。多くの臨床教授が誕生した。九月十六日開催の人事等教授会において、青森県立中央病院と国立弘前病院の中から推薦された医師を対象として選考を行った。今回の発令は十月一日で、翌日、医学部長室において伝達式が行われた。

今回臨床教授及び臨床助教授もチユートリアル教育にして臨床クラークシップにしており、一部では臨床クラークシップや医学教育は今までに変革される。多くの医学部の時期を迎えている。多くの臨床教授が誕生した。九月十六日開催の人事等教授会において、青森県立中央病院と国立弘前病院の中から推薦された医師を対象として選考を行った。今回の発令は十月一日で、翌日、医学部長室において伝達式が行われた。

臨床教授
高澤哲也
（産婦人科医長）
志賀健人
（集中治療部長）
佐藤年信
（消化器科医長）
平井裕一
（総合診療内科副部長）
畠田康政
（内視鏡部副部長）

（新川記）

臨床教授
青森県立中央病院
（小児科部長）
志賀健人
（集中治療部長）
佐藤年信
（消化器科医長）
高澤哲也
（産婦人科医長）
畠田康政
（内視鏡部副部長）

臨床教授
青森県立中央病院
（小児科部長）
志賀健人
（集中治療部長）
佐藤年信
（消化器科医長）
高澤哲也
（産婦人科医長）
畠田康政
（内視鏡部副部長）

臨床教授
青森県立中央病院
（小児科部長）
志賀健人
（集中治療部長）
佐藤年信
（消化器科医長）
高澤哲也
（産婦人科医長）
畠田康政
（内視鏡部副部長）

臨床教授
青森県立中央病院
（小児科部長）
志賀健人
（集中治療部長）
佐藤年信
（消化器科医長）
高澤哲也
（産婦人科医長）
畠田康政
（内視鏡部副部長）

倫理委員会が年内に百回の開催を迎えるに至ったことや、本邦の各大学の倫理委員会で組織している「大連絡懇談会」がこの度大きく変わったことなどを振り返りつづけ報告したい。

本邦の倫理委員会は、例外受精を直接の審議対象として、徳島大学医学部は昭和五十七年誕生した。弘前大学医学部では、昭和五十九年に倫理委員会設置検討委員会が設けられ、昭和六十一年一月二十三日医学部倫理委員会が発足した。当初は不定期開催、また、一時期隔月開催の時期があつたが、月一回開催され、その後毎月開催される。構成員がこのようないい。基礎教官会議や臨床医局代表者会（医代会）から、また、看護部からの参加を得ている。専門委員として、人文学部の倫理学と法学の先生に、また、法曹界・宗教界からも参加している。基礎医学教授二名・臨床医学教授二名。そして、法医学教授委員会を設けて審査しそう。

最近、倫理審査申請が多くなった。研究倫理審査の取り扱いも考慮の時期に来ていると思う。生殖医療関係の審査は本委員会内に小委員会を設けて審査しそう。

各委員が多くの方々にお教えをいただきつつ勉強し議論を重ねた結果である。本委員会として最も大事にしていることは、何にもとらわれない人間としての全く

ジヤマイ力見聞記

ジャマイカ・プロジェクトの
立ち上げに参加して

生理學第一講座

齋藤

和子

一九九八年七月十一日、紹介されました。役職名

点となるマンデヴィルへ大型トランク十二個と手荷物、乗客三名を乗せてミニバスが出発しました。町に入る前の坂道で車がオーバーヒートして四回も止まり前途多難を思わせました。ラジエーターの中で冷却水が沸騰して音を發て、ふたを取ると蒸気がシューッと吹き上がるなどというのはコマーシャルや映画のシーンだけかと思つていましたが、この国ではよくあることのようです。



プロジェクトの立ち上げ式

まだ半分しか
名前と顔が一
致しません。
この事務所で
一日中朝から
夕方まで私たち
三名それが
ノートパソ
コンを目の
前にしてキー
ボードを叩いて
いましたが、
これはジャマ

一パートが休暇に入つたこともあり、スロー・ペースで仕事が始まつたのが慣れな私には幸いでした。プロジェクト初年度は保健システムに関する調査と評価が主な仕事です。最初に、住民の健康に対する意識調査の質問表の原案を作ることになりました。保健センターのCoombs医師から、以前ジャマイカ国で行われたライフスタイルの調査質

訪問調査を開始しましたが、日本人から見るとかなり馬が多い作業のように思います。しかし、仕事に従事している人たちは非常に精力的でした。中心となつて活躍しているのは日本では看護職の領域に属する方々で、これに携わる医師がほとんどないことが私には気がかりでした。

八月十四日、プロジェクトのLaunching Meeting of

かいました。モンテゴベイを離れるにつれて、観光客用のホテル等が消え、ブロック塀を積み重ねたような家が目立つてきました。ジヤマイカはカリブ海に浮かぶ秋田県ほどの面積の島の中に二四五万人が暮らす国で、観光・農業・ボーキサイトが代表的な産業です。自然の富と美しい太陽を象徴する黄色の対角線、希望と豊かな農業資源を表す緑、

とにより医療費の削減の達成を目指すことが今回のプロジェクトの目的であることを伺いました。しかし、ジャマイカ医療における第一の問題点として、医療面を含めて政治体制が中央集権から地方分権へ移行しつつあるため、日本の厚生省にあたる保健省の職員も地位が不確定まま仕事をしており、三田先生方もまずはこのような状況の調査

つくというものでした。この病院には海外青年協力隊員が医療機器のメンテナンスの指導にきましたが、ジヤマイカの人々は、工夫次第で何とかなる機器を放置してしまうので、与えるだけの援助では何もならぬいと言つておられました。

十一日にはキングストンで、保健省、ジヤマイカ最大の大保健所、それに西イングランド大学を訪れました。病院

よりよい方法をともに考え、手助けすることなのだと思います。これは医療のみならず、社会全体の底上げのために必要なのではないかと思います。このように考えられるようになつたのも現地に行つたからこそであります。三田教授をはじめ現地でお世話になつた方々、そしてこの研修にご配慮下さいました遠藤学部長や諸先生方に感謝申し上げます。



St. Pauls Health Centre (Type I) の建物。手前は筆者。

ジャマイカ研修を終えて

医学科三年
屈内
智子

「ともに歩む姿勢」

やマイカ研修を終えて
学んだ「ともに考える姿勢」

大学医学部国際医療研究会のメンバーとしてジャマイカでの研修をすべく成田空港を飛び立ちました。翌日のモンテゴベイ空港で見た眩しい太陽と広い青い空、クリスタルブルーの海、そして熱風にジャマイカでの滞在の台まりを感じました。

色からなる国旗はワールドカップでご覧になつた方も多く、この国にはメイド付の豪邸もある都會の生活がある一方で、電気も水道もない家に住む地方の生活が存在しています。このようにジャマイカは地

ら、内科・小児科・歯科が附属のものまでありました。十日、スポルディングにある病院を見学し、ナイジニア出身の医師に会いました。医師は公立病院に勤務する傍ら開業しており、医師不足に悩む公立病院には処方箋を出す資格のある

案した上で、二、三年後に技術交流が本格化する計画とのことです。すでに援助慣れしてしまった現地の人々を実際に見てみると、まずこの意識を変えていかなければ、このプロジェクトの成功は難しいと感じました。日本はより多くの国

集めて開かれました（写真）。これによりやっとプロジェクトの開始が公になりました。その後の保健センター訪問時にWellness Clinicを知つて、その質問です。事務所の扇風機も少しは私たちの方に向かって風を送るように扇風機も少しは私たちの方に向かって風を送るようになりました。保健センター業務に関わっている上層部の方々に徐々に日本の考え方方が理解され始め、プロジェクトがようやく開始したというところです。

用しますし、アメリカが育は保健所や学校でも重点の前ですので、仕事も収入も少ないジャマイカから外國への流出も当然かもしれません。人材流出は外貨獲得にはなりますが、そのために国内産業は空洞化し、非常に高い失業率が大きな社会問題です。これを反映してか、日中から道端で談学した後、医学生と交流しました。私が話した三年生の彼女が、卒業後イギリスの院へ進むという話に耳を傾けつつ、前日見学した病院で機器と医師不足を私達に訴えていた看護婦さんを

問表を参考に回していただきました。内容を読み進むうちに、日本人では、とても考えつかない質問内容に選択肢が含まれている。

Wellness Programmeがマンデ
ヴィル保健センターで、ジ
ヤマイカ国保健大臣、日本
大使等の列席のもとに南部
地域保健センター関係者と

であるという考えが保健関係者にきちんと理解されているわけでは必ずしもなく、病院や施設を訪問すると最初に聞かれるのは、今度は

が主な仕事のようです。第二に青森県にも共通する人材流出という問題があります。ジャマイカで取得した資格を持立は英連邦内で通用する母國では問題で、生数では十四歳ぐらいの少女が自分の赤ちゃんを抱いている姿にショックを受けました。エイズ感染率上昇に伴う母子感染が問題で、生数



医療訴訟に関する報道に接する機会が増えてきたが、医療訴訟等に関する講演会が、平成十年十月二十一日MCC大會議室において、医療事故対策委員会（横山雄委員長）の主催で開かれた。「医療過誤と医療従事者的心構え」と題して、弁護士木崎 孝氏（第二東京弁護士会所属）が医療事故紛争の現状と予防に関しては医師、看護婦、事務職などではほぼ熱心な質疑応答がなされた。医療事故訴訟提起は年間五〇〇件程度であるが、四十二名と弁護士の少ない青

木崎弁護士（東京）による講演会

医療訴訟に関する報道に接する機会が増えてきたが、医療訴訟等に関する講演会が、平成十年十月二十一日MCC大會議室において、医療事故対策委員会（横山雄委員長）の主催で開かれた。「医療過誤と医療従事者的心構え」と題して、弁護士木崎 孝氏（第二東京弁護士会所属）が医療事故紛争の現状と予防に関しては医師、看護婦、事務職などではほぼ熱心な質疑応答がなされた。医療事故訴訟提起は年間五〇〇件程度であるが、四十二名と弁護士の少ない青

木崎弁護士（東京）による講演会

医療訴訟に関する報道に接する機会が増えてきたが、医療訴訟等に関する講演会が、平成十年十月二十一日MCC大會議室において、医療事故対策委員会（横山雄委員長）の主催で開かれた。「医療過誤と医療従事者的心構え」と題して、弁護士木崎 孝氏（第二東京弁護士会所属）が医療事故紛争の現状と予防に関しては医師、看護婦、事務職などではほぼ熱心な質疑応答がなされた。医療事故訴訟提起は年間五〇〇件程度であるが、四十二名と弁護士の少ない青

具体的な事例の呈示の中

（棟方 記）

ジャマイカ保健省医務官Dr.Coombs来弘 — 4週間の保健行政研修 —



弘前大学によるジャマイカ国南部地域保健強化プロジェクトの一環として、ジャマイカ国の保健事業担当

P.Coombs医務官。Dr.Coombsは南部地

直接関わるジャマイカ側の責任者で、一九五七年生まれ、八十五年から

一九八一年に西イ

ンド諸島大学医学部を卒業された。インター、レジデンントの学を学ばれ、八十五年から

病の早期発見が治療コストをむしろ下げることにつながると説明させて頂いた。

全体的には、日本は美しく

親切との印象を述べられた

前号で紹介した通り、三田、齋藤両先生は既にジャマイカで活躍中であり、大学側では、今後も看護婦、

ソバ

病院での紛争増加

ソバ

ソバ

ソバ

ソバ

ジャマイカ保健省医務官

Dr.Coombs来弘

— 4週間の保健行政研修 —

ソバ

ソバ

ソバ

ソバ



幻の津軽そば

須田 俊宏

が、これは、必ずしもリップサービスではない様子であった。

弘前での最終日となつた十月九日には医学部長室で研修報告会が行われ、JICAの係官から認定証が授与された。Dr. Coombsは一男

ちろん、弘前保健所、青森県環境保健センター、北秋中央病院などで四週間の研修を積まれた。

日本健康管理システムはレベルが高く、今後ジャマイカにおける制度確立のための良い見本になると話しておられた。氏の言葉によると、「特に印象的であるのは、コスト／効率を最大化するコスト／効率をいか側の責任者で、一九五七年生まれ、八十五年から

ソバ

訂正とお詫び

コラム 医学部こぼれ話

● Z教授は欠席の多い学生や試験の成績の悪い学生を呼び出して、種々指導することでも有名な医学部の金八先生。その先生、ある学生を呼び出していた。夕刻実験室で実験していると、一人のホームレスみたいな学生が入ってきて、Z教授の前にきて曰く、「僕はZ教授に呼び出しを受けていま

いた。B君は「私は教授に呼び出しを受けていた」とB君は「私は教授に呼び出しを受けていた」といわれてその気になつて眼科に入局した。眼科の新入生歓迎会の最中、この事を、皆に披露しようと思つて自分の番を待つていた。A君より先に挨拶を始めたB君の話を聞いて、目がとび出さんばかりに驚いた。B君は「私が小さから眼鏡に驚いた」といわれて入局しました。

（脱落）

第六号客員外国人研究者紹介で、泌尿器科学講座劉星先生の略歴で記載に脱落と誤りがありましたので、左記の通り訂正します。大変失礼いたしました。

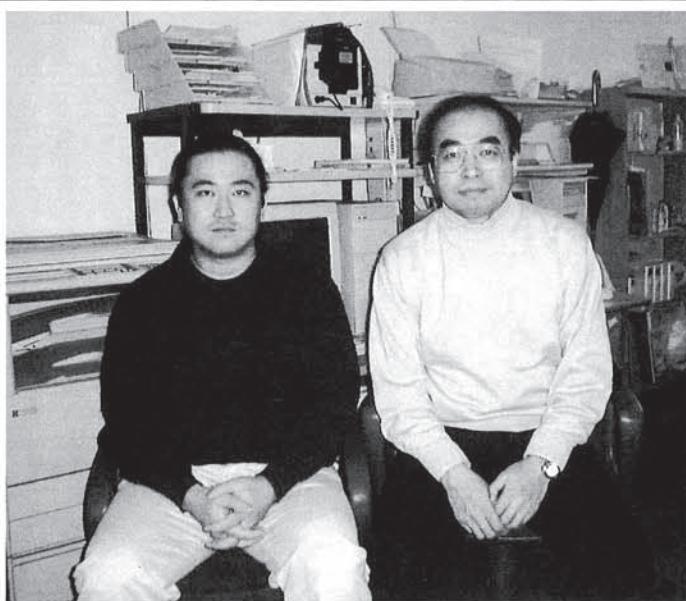
（誤）→（正）

一九九五～一九九六 弘前大学医学院医学研究科入学

研究室紹介 第一生理学教室

脳のソフトウェアとハードウェア

藏田 潔



藏田教授（右）と相澤助教授（左）

研究の概要

最近の研究の発展によつて、大脳皮質が多くの機能独立性を有する領域から構成されることが明らかになりました（図1）。例えば、私たちがものを見るという機能は、その視覚要素毎に別の領域で処理・認知されることが知られています。具体的には、「赤い」などを動かすか、「どこに手を動かす？」など、手を動かすかなどの運動機能をもつた行動を実現するため、随意運動の企画や制御をしています。高次視覚中枢と同様、大脳皮質には多数の運動領域が存在し、それぞれ「どこに手を動かすか」、「どうやって手を動かすか」などをプログラムするための独自の機能を有していることが明らかとなっています。また、「りんご」や「りんご」が落ちる」という形態認知、そして「落ちる」という視覚運動情報の認知機構はそれぞれの高次視覚中枢で行われることが知られています。

脳における機能局在

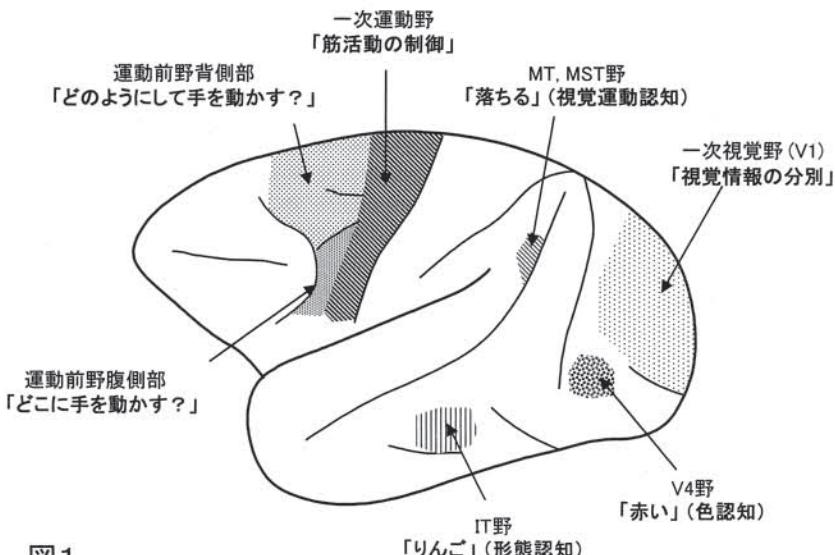


図1

ろうとする研究は高次脳機能のシステム的研究の重要な部分を占めています。当教室では大脳の随意運動の発現と制御機構の解明をテーマに、主に運動課題遂行中のサルの脳におけるニューロン活動の記録と解析を主体にした研究を行つております。

大脳の高次運動野および脳幹の上丘が、それぞれ手と眼の運動の発現・制御・調節にどのような役割を果たしているか、行うべき運動の決定・企画・構成・準備の脳内過程がどのようなメカニズムで行われるか、そして各中脳領域がどのように機械的連関をしているかを解明しようとしています。さらに、脳の複雑かつ多岐にわたる機能をよりよく解説としています。さらには、単に課題遂行中のニューロンを記録するだけではなく、運動系・感覚系を問わず脳が如何に機能するかについての計算論的な背景をもとに実験を行なうことが現在の世界的研究のレベルの主流となつており、当教室でも最新の理論的背景のもとに実験を行っています。

実際に行動し運動している生体の脳のニューロン活動はいわば脳のソフトウェアそのものといえると思いまが、これを調べるために有力な方法が課題遂行中のサルの脳からニューロン活動を記録し時系列的に解析する生理学的手法であり、これを当教室の中心的研究法としています。さらに、ある中枢領域に特有のニューロン活動記

明するためには、脳のソフトウェアとハードウェアの両面からのアプローチによって研究を進めることができます。これまでの研究戦略を導入しつつ実験のプロジェクトを計画・遂行していく

明するためには、脳のソフトウェアとハードウェアの両面からのアプローチによって研究を進めることができます。これまでの研究戦略を導入しつつ実験のプロジェクトを計画・遂行していく

明するためには、脳のソフトウェアとハードウェアの両面からのアプローチによって研究を進めることができます。これまでの研究戦略を導入しつつ実験のプロジェクトを計画・遂行していく

らばらにならず統一されたものとして認知されるのは、別々の領域間で機能的な連関があるためと考えられていました。一方、私たちの脳は目的をもつた行動を実現するため、随意運動の企画や制御をしていました。高次視覚中枢と同様、大脳皮質には多くの運動領域が存在し、それぞれ「どこに手を動かすか」、「どうやって手を動かすか」などをプログラムするための独自の機能を有していることが明らかとなつきました。このように随意運動がどのよう

に発現し制御されるかを知

人事異動		
● 医学部		
採用	辞職	● 脳のハードウェア
10・9・16 形態外科学助手 新明 康宏〔医員(研修医)〕 岡田 晶博〔弘前記念病院〕	10・9・30 内科学第三講師 堀場 伸郎〔未定〕	脳を特徴づけるものは、
配置換	昇任	ハードウェアとして調べなくてはならないことが数多く出てきます。そのため、神経活動を調べながら神経回路も調べることのできる生理学的同定法を用いています。
10・10・1 眼科講師 櫻庭 知巳〔附属病院講師〕	10・11・1 耳鼻咽喉科助手 寺田 一仁〔青森労災病院〕	これが機能同定された脳局所に新たな機能的側面が明らかになることによって
転出	転任	ハードウェアとして調べなくてはならないことが数多く出てきます。そのため、神経活動を調べながら神経回路も調べることのできる生理学的同定法を用いています。
10・10・1 整形外科助手 吉原 秀一〔国立療養所青森病院〕	10・10・1 外科学第一講師 小林 慎〔医学部助手〕	これが機能同定された脳局所に新たな機能的側面が明らかになることによって
配置換	復職	ハードウェアとして調べなくてはならないことが数多く出てきます。そのため、神経活動を調べながら神経回路も調べることのできる生理学的同定法を用いています。
10・10・1 眼科講師 第三内科助手 富山 誠彦〔医員〕	10・10・1 外科学第一助手 豊木 嘉一〔医学部助手〕	これが機能同定された脳局所に新たな機能的側面が明らかになることによって
採用	昇任	ハードウェアとして調べなくてはならないことが数多く出てきます。そのため、神経活動を調べながら神経回路も調べることのできる生理学的同定法を用いています。
10・10・1 形態外科学助手 崎原 哲〔医員〕	10・10・1 第一内科助手 坂本 十一〔医学部助手〕	これが機能同定された脳局所に新たな機能的側面が明らかになることによって
配置換	復職	ハードウェアとして調べなくてはならないことが数多く出てきます。そのため、神経活動を調べながら神経回路も調べることのできる生理学的同定法を用いています。
10・10・1 眼科講師 一瓶 義博〔八戸市立市民病院〕	10・10・1 産科婦人科助手 佐藤 澄人〔西北中央病院〕	これが機能同定された脳局所に新たな機能的側面が明らかになることによって
配置換	昇任	ハードウェアとして調べなくてはならないことが数多く出てきます。そのため、神経活動を調べながら神経回路も調べることのできる生理学的同定法を用いています。
10・10・1 整形外科助手 周産母子センター助手 木村 義治〔公立野邊地病院〕	10・10・1 産科婦人科助手 福田 真作〔医学部助手〕	これが機能同定された脳局所に新たな機能的側面が明らかになることによって
配置換	復職	ハードウェアとして調べなくてはならないことが数多く出てきます。そのため、神経活動を調べながら神経回路も調べることのできる生理学的同定法を用いています。
10・10・1 眼科講師 嶋原 哲〔医員〕	10・10・1 産科婦人科助手 尾崎 浩士〔医学部助手〕	これが機能同定された脳局所に新たな機能的側面が明らかになることによって



II 座談会 II SGT を終了して

終了時期に要望、大きい教育の影響



司会：本日は卒業試験の中、お集まり頂き有り難うございました。SGT制度をより実り多いものとするために皆さんに忌憚のない意見を述べて頂きたいと思います。

司会：現在のSGT期間は九月下旬から翌年の九月までですが、これについての感想はどうですか。

学生A：SGT制度で、一年は適当だと思って、一年までかかると卒試や国試のことが気になりSGTの実習に身が入らなくなるので八月までには終わって欲しいと思います。

学生C：現在のSGT期間ではも身が入らなくなるので八月までには終わって欲しいと思います。

学生E：もつ

SGT制度が発足して三十一年が経過した。その間、昭和四十八年に大幅な見直しがあり、また診療科増設の度毎に多少の変化をしながら今日に至っている。現在のSGT学生は旧カリキュラムとしては最後の学年であり、生が本制度についてどのような感想を抱いているのかを知ることは、今後の本制度を考える上で大事なことと思われる。この度、六人の専門四年生を交えての座談会を持ち、本制度の持つ意義について学生からの感想を聞いています。

(座談会は十月三十日開催し、編集委員会からは佐々木(二外科)が司会者として出席した。)

司会：本日は卒業試験の中、お集まり頂き有り難うございました。SGT制度をより実り多いものとするために皆さんは忌憚のない意見を述べて頂きたいと思

司会：現在のSGT期間は九月下旬から翌年の九月までですが、これについての感想はどうですか。

学生A：SGT制度で、一年は適当だと思って、一年までかかると卒試や国試のことが気になりSGTの実習に身が入らなくなるので八月までには終わって欲しいと思います。

学生C：同じ科のなかでも教育によつて様々です。さればSGTは教育の态度に左右されることもあります。たとえばSGTを終了した感想について

司会：次はSGT期間中の受け入れ側の対応について、実習のカリキュラムを含め

学生B：診療科によつて対応は全然違います。また、

司会：医学部構内へ移転されることに伴い、医学部基礎研究棟構内北西角の大黒松周辺がみちのく銀行二十周年記念助成金を受けた整備され、「医学部大黒松小公園」として生まれ変わった。そ

の開園式が十月十九日午後一時から執り行われた。当

日、弘前市企画部、ひろさき創生塾OB、岩見朝陽小学校長、山口白菊会理事長、

度毎に多少の変化をしながら今日に至っている。現在のSGT制度は新カリキュラムの教育を経験した学年が本制度の対象となる。従つて、SGTを終了した専門四年生が本制度についてどのような感想を抱いているのかを知ることは、今後の本制度を考える上で大事なことと思われる。この度、六人の専門四年生を交えての座談会を持ち、本制度の持つ意義について学生からの感想を聞いています。

司会：皆さんに夏休み前に終わって、九月からは試験に向けて勉強したいと思います。出

来れば夏休み前に終わって、九月からは試験に向けて勉強したいと思います。

司会：皆さんに夏休み前に終わって、九月からは試験に向けて勉強したいと思います。

司会：皆さんの意見のなかには私が学生の頃に話題になつた問題もあり、直ちに



開園式でのテープカット

みちのく銀行20周年記念助成金を得て 医学部大黒松小公園完成する



ラムは科によって違います
が、しつかりしたカリキュラムで行っている科やただ
で見学だけで終わる科もあります。例えは期間が短かく
ても充実した所もある反面、
二週間が殆ど印象に残らな
ます。例えば期間が短かく
ても充実した所もある反面、
一週間に興味を持つてい
る学生も大勢いるので、外
回りの時間を選択制などに
回りの時間を選択制などに
よりも増やして欲しい
と思います。

学生B：教育の数にもより
て、より良い方向に進むべきと

SGTを終了した感想につ
いて

司会：それでは時間もだい
ぶ過ぎましたので、最後に
何でも結構ですので一言ず
つ述べて下さい。

学生A：SGT開始前は不
安が多かったが、「自分な
りに得られるものは得よう」

学生B：SGT学生の休憩
場所が欲しい。

学生F：SGTのシステム
は賛成ですが、選択制など

は教官側からも意見を聞いて、より良い方向に進むべきと

SGTを終了した感想につ
いて

司会：SGTの講義は患者さん
が十分に生かしきれていない面もあると思います。最

初の頃は張り切って頑張りました。今後、改善でき



解剖体慰靈碑が長勝寺か

ら医学部構内へ移転される
ことに伴い、医学部基礎研

究棟構内北西角の大黒松周

辺がみちのく銀行二十周年

記念助成金を受けた整備さ

れ、「医学部大黒松小公園」

として生まれ変わった。そ

の開園式が十月十九日午後

一時から執り行われた。当

日、弘前市企画部、ひろさ

き創生塾OB、岩見朝陽小

学校長、山口白菊会理事長、

工藤委

解剖体慰靈碑が「開かれた医学部」の一端を担い、市民、旅行者、学生、教官の交流の場として、弘前の新名所となること

史的には「五十石松」と呼ばれていた)を中心に、ケヤキ、コブシ、ヒマラヤシ、イダ、カシワ、アブラチャ

ドロビンの垣根で囲まれた公園にはすでに市民も訪れ、慰靈碑とともに長勝寺から

解剖体慰靈碑、大黒松(歴史的には「五十石松」と呼んで十分と思う科があり、期間が一年でもうまく組合われ、遠藤氏のOBを中心としたワクショップなど、医学部関係者がだけでなく、弘前市医師会理事長、河西名譽教授、医学部関係者などが参列した。遠藤教授、桜田・中村・水戸の各

原田和夫みどりのく銀行支店務、高松先生の意見も大幅に採り入れられ、ベニカナメモチ・レッド、カツラ、ドウダンツツジ、ドイツトウヒが配置され、

石戸谷鵬桜会理事長、中野施設部長、河西名譽教授、医学部関係者などが参列した。遠藤教授、桜田・中村・水戸の各

原田和夫みどりのく銀行支店務、高松先生の意見も大幅に採り入れられ、ベニカナメモチ・レッド、カツラ、ドウダンツツジ、ドイツトウヒが配置され、

弘前市との話し合い、ひろさき創生塾(地主弘前大学人文学部教授(現岩手県立大学)、北原教育学部助教)

解剖体慰靈碑、大黒松(歴史的には「五十石松」と呼んで十分と思う科があり、期間が一年でもうまく組合われ、遠藤氏のOBを中心としたワクショップなど、医学部関係者が参列した。遠藤教授、桜田・中村・水戸の各

原田和夫みどりのく銀行支店務、高松先生の意見も大幅に採り入れられ、ベニカナメモチ・レッド、カツラ、ドウダンツツジ、ドイツトウヒが配置され、

「我々の医学部、21世紀にめざすもの」

—医学部21世紀構想検討委員会からの中間報告—

委員長（生理学第一講座教授） 泉井 亮

今、ここ医学部に危機感が漂いはじめている。「このままでは我々の医学部は消えてしまうのではないか。」

社会的に大学のあり方が問われ、その解答としての大学改革とそれに向けた行動が求められている。そしてこのたびの「二十世紀の大学像と今後の改革方策について」の大学審議会の答申では、これまでの大学における「緊張感と競争意識の欠如」に強い警告を促し、社会のニーズに対応した大学への転換、個性の輝く大学への脱皮を求めていく。そしてこれが大学が生き残るための条件であると指摘している。

我々の医学部は何として生き残らなければならない。これが他大学との競争も指摘している。

社会的に大学のあり方が問われ、その解答としての大学改革とそれに向けた行動が求められている。そしてこのたびの「二十世紀の大学像と今後の改革方策について」の大学審議会の答申では、これまでの大学における「緊張感と競争意識の欠如」に強い警告を促し、社会のニーズに対応した大学への転換、個性の輝く大学への脱皮を求めていく。そしてこれが大学が生き残るための条件であると指摘している。

我々の医学部が社会のニーズに応え、そして輝いているにはどうすればよいか。本委員会は考えた。それは

「面接——いかに人物を評価するか」

全日空 井上伸一氏 講演の記録から

麻酔学講座教授 松木 明知

去る九月四日（金）医学部コムニケーションセンターで「面接——いかに人物を評価するか」

その他の医療部は生き残らなければなりません。しかし、全部は生き残るために、生きて立てる。それならば、いつれかの点において、頭一つ飛び出しがあればよい。それ

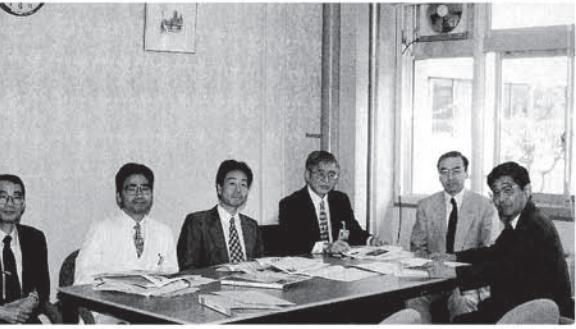
この活躍があればよい。それが我々の医学部の特徴となる。これが、個性になる。これが、個性になる。これが、個性になる。これが、個性になる。

これらの医療部は生き残らなければなりません。しかし、全部は生き残るために、生きて立てる。それならば、いつれかの点において、頭一つ飛び出しがあればよい。それ

この活躍があればよい。それが我々の医学部の特徴となる。これが、個性になる。これが、個性になる。これが、個性になる。これが、個性になる。

これらの医療部は生き残らなければなりません。しかし、全部は生き残るために、生きて立てる。それならば、いつれかの点において、頭一つ飛び出しがあればよい。それ

この活躍があればよい。それが我々の医学部の特徴となる。これが、個性になる。これが、個性になる。これが、個性になる。これが、個性になる。



編集会議風景
（株）井上伸一 氏 講演の記録から

編集後記

題の解決に向けた工藤委員長、加地教授等の努力に敬意を表します。

●4週にわたる学位論文の予備審査シリーズが終了しました。秋の学会シーズンとともに最も神経をとがらせ

成に最も神経をとがらせ

成に最も神経をとがらせ

成に最も神経をとがらせ